

北村 あや子 区政ニュース

はしか(麻しん)抗体検査とワクチン接種費用助成

荒川区 妊娠希望者などに 6月から開始

前号の区政ニュースで、はしかの流行についてご報告しました。東京都に加え、千代田区と新宿区も独自に助成を始めましたが、荒川区でも緊急対策として、妊娠を希望している方と妊娠中の同居家族についてはしかの抗体検査とワクチン接種の費用助成を6月から新たに始めるとのことです。妊娠中にはしかにかかると流産や早産を起こす可能性があるため実施することにしたそうです。

実施公表前、製薬メーカーから「荒川区独自の助成を行うのか」という問い合わせがあったようです。供給の心配をしているのでしょうか。現在は安定供給ができており、荒川区と医師会とで調整がすすみ、問題ないとのことですが、必要な方に必ずワクチンが届くような配慮も必要かと思えます。区民の命と健康を守ることに、荒川区には力を注いでほしいと思います。

対象者

(1)抗体検査

・19歳以上の妊娠希望の女性とその同居者、麻しん抗体価の低い妊婦の同居者
※抗体検査の結果、基準値を超えていることが確認されている方は除く

【問合せ】健康推進課 電話番号:03-3802-3111(大代表)

(2)予防接種

抗体検査の結果、予防接種が必要と認められた者

(3)緊急接種

保健所の調査で接触者と判定された方で、接触から72時間以内の者

街の声



*資源回収の日、区が回収する前の早朝に、別のトラックが来てもっていってしまう。(西尾久3丁目)

➡西尾久4丁目でも同様のお話を聞きました。区の担当部署に連絡し、状況を確認して対応するよう伝えました。

*自宅を建て替える予定で転居したが建築資材不足・高騰で、当初予定が大幅に延期されそう…。仮住まいの家賃もかかるし、大変困っている。

➡大規模な再開発だけでなく、個人の住宅も影響が出ていますね。費用もかかるし、予定がつかないというのも大変です。建築業界の方々との懇談の際にもお話を伺いました。日本共産党荒川区議団として、荒川区に緊急要望

をする予定です。次号以降に詳しくご報告します。

*一方通行を逆走してしまう車両が度々…危ない!

➡逆走すれば小台橋にぬけられる細い道…。あえて行くのか、わからずに行くのか、いずれにしても危険です。「一方通行」がわかりやすくなる表示にするなど、改善を求めました。



身近な「こまった」、お気軽にお聞かせください。



地域の介護事業所を守って 区内の現状

日本共産党区議団は物価高騰・資材不足の中、介護現場の実態について、区内の介護サービス事業所のみなさんからお話を伺いました。

日々の運営は

- プラスチック手袋の販売数が制限された
- 事業所の賃料が2.5倍に
- デジタル化がすすむ一方で、日々の通信料、サポート代、セキュリティ費用など負担がふえた
- 処遇改善加算を取るための事務の手間が大変

ケアマネが大変

- 高齢化、30代がいらない
- 人手不足で新規依頼を受けられないことも
- シャドーワーク(勤務外の仕事)が多くて大変…代行ができないか
- デジタル化でツールはあっても、仕事そのものが変わらないと大変さは変わらない

特養ホームに入れない

- 区内の待機者は370人…必要な時に入れる状況とは言えない
- さいたま市、岩槻市、川口市などから特養の営業が来る…せめて近場で入所できるような仕組み(行政間の連携など)があったらいいのに



人手不足の現状

- 新しい施設が職員不足で、定員まで受け入れることができないと聞いた
- デイサービスが閉鎖し、利用者さんは他施設に移ったが、移転先のデイも閉鎖に。こんなことは今までなかったのでびっくり
- 送迎の運転手不足が深刻。介護職は賃上げの報酬加

春の運動会シーズン

5月23日土曜日に尾久西小学校、尾久第六小学校、尾久八幡中学校で運動会が行われました。肌寒い曇り空でしたが、児童・生徒さんたちの熱いリレーに感動！入学して間もない1年生の皆さんの演目も素敵でした。吹奏楽がさかんな学校では生演奏も披露されました。ご家族・ご近所のみなさんは寒い中での応援、運営された学校関係者・PTAの皆さんお疲れ様でした。

5月30日土曜日は第七中学校、6月6日土曜日は尾久宮前小学校で運動会の予定です。

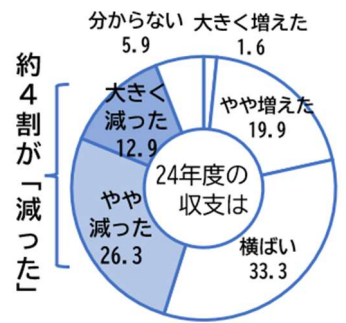
年季の入った尾久西小の優勝カップ



算があるが、運転手は専門職とみなされず加算がないため賃金が低く、人材確保が難しい

介護あって介護なし？！

国の「介護事業経営概況調査」では、2024年度決算で利益率「5%未満」の事業所が64%に。昨年の区の調査でも、区内介護事業者の約4割が24年度の収支が「減少(右図)」、現在の経営状況に「問題あり」も4割に。



区の介護保険料(65歳以上の基準額)は23区で最高額ですが、高い保険料を支払っても、そもそも介護事業所がなければ介護は受けられません。事業所の経営安定や職員の処遇改善に介護報酬の基準額引き上げと、高すぎる介護保険料引き下げに国の財源割合の引き上げが不可欠、区の独自支援も求めています。

介護の充実を国に求める

13日(水)の区議会委員会では、区民から出された「介護保険料値下げと介護サービス充実を求める」陳情が「趣旨採択」に。日本共産党は「採択」を主張しました。

陳情は、国の財源引き上げの意見書を区議会から提出するよう要望しており、区民のくらしをまもる介護サービス充実に、議会から声をあげるよう提案します。

利用者負担	9割			
	公費 50%		保険料 50%	
	国 25%	都 12.5%	区 12.5%	40~64歳 27%
				65歳以上 23%



日時 **6月19日(金)** 18:30~20:00

会場: **北村あや子事務所**

西尾久2-4-8 1階 TEL3894-6668 要予約

職場のトラブル、相続や終活のこと…一人で悩まず、お気軽に相談を。

